

今回は、いろいろな国籍の子どもたちの多い静岡県浜松市の小学校で、各学級
の子どもたちや担任の先生方の個性を尊重しながら、子どもたちの興味を引く楽
しい授業の支援活動を続けられている鈴木洋子さんの実践報告です。

2016年11月号

J-SHINE 通信



鈴木洋子 さん

J-SHINE小学校英語上級資格者。英会話学校、塾講師
などを経て私立中高一貫校で15年教える傍ら、静岡県浜
松市の公立小学校で支援活動5年目。

■J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

我が子たちが幼い時に、英語で物語りを聞かせるラポチューター
になったことが児童英語との出会いでした。物語を通して子ども
たちは、英語と日本語という言語の垣根を飛び越して、心の中に世
界の人達とつながっていく楽しさや喜び、自分を開放する鍵を見
つけていくように感じました。その後引越しを繰り返す中で、英会
話学校、塾、自宅で教え、中・高一貫校でも教えるようになりました。
当時所属していた団体がJ-SHINE資格取得をしました。
地域の自治会の役員をしていた時、自治会長さんや小学校の校
長先生が地域の活動に熱心で、経験のある住民たちが小学校の
校外活動で昔の遊びを一緒にしたり、ダンスを教えたりしていま
した。ちょうど小学校で外国語活動が始まったところでもあり、ボラ
ンティアとして参加するようになりました。上級指導者資格は条件
も満たしていましたので取得しました。

■現在の活動状況

5年前はまだ小学校で外国語活動が始まったばかりで、先生方
がどのようにやったらいいか戸惑っているところでした。HRTも英
語を積極的に使うのには、慣れが必要な状況でした。しかし今で
は初めの挨拶からゲーム指示など多くの場面で、どのHRTもクラ
スルームイングリッシュを使っています。お手伝いしている小学
校では、5、6年生が年間35時間（学校の行事や台風などで変
更もあります）カリキュラムに組まれています。どちらかの学年を
HRTとALT、HRTと私という組み合わせで授業を行っています。
ALTはお昼ご飯を、クラスごと順番で一緒に食べています。他の
学年は行事や休み時間に外で一緒に遊ぶなど、或はお昼休みの
放送などでALTと接する機会があります。ですから、廊下などで
低学年の児童たちが喜んで、“Hello, James!”とALTに話しかけ
ています。とてもいい雰囲気だと思います。

最初の外国語活動担当の先生が、学生の時に留学経験があ
り、児童たちにとっても人気のある元気な先生だったことはラッキー
でした。ビデオやゲームなどもその先生が積極的に工夫して取り
込んでレッスンプランニングをしました。それを土台にして年々先
生方が工夫しています。一応その日のティーチングプランはありま
すが、クラスに応じて変化させたり、HRTの個性が発揮されて同
じプランでも児童たちの反応は変化します。そこがとても楽しく、
私にとっても嬉しく興味深い所です。また浜松という地域は、工
業都市でヤマハや本田、スズキ、カワイなど世界と競争している
企業が多い所です。1990年ごろから外国人労働者が増えていき、
今では普通に学校の友達はブラジル人、ペルー人、フィリピン人、
韓国人など一緒に勉強しています。先生方はご苦労も多いです
が、少なくとも外国語活動においてはプラス面が多いです。先日
の世界遺産と国名を結びつける授業では、「マチュピチュ」のカー
ドを見てセバスチャンというペルー出身の児童が一番に手を挙げ
て「ペルー」と答え、嬉しそうでした。こちらまで嬉しくなります。
今年は物語本読みも加わり、ますます児童たちの中に外国語活
動の広がりが見えて期待が高まります。



■今後の展望、課題、目標

2020 年、オリンピック・パラリンピックを機会に新学習指導要領全面実施や 2018 年度先行実施の小 3・4 年の英語活動の必修化、また小 5・6 年の成績評価など目覚ましく変化していくと思われます。長い間英語教育に関わっていると、周りの中国や韓国の英語教育のやり方、取入れの速さに、世界と渡り合うのにはかなわないと思うこともありました。私学はさておき、ようやく公立で始まりだしたのです。一方、現場においてはなかなか大変だと思います。

高校では Communication 英語、Expression 英語など英語で授業を行う事をやっていますが、受験英語もあり、まだまだ先生方の中では試行錯誤過渡期であると思われます。中学においても目標に向かって先生方の頑張りはこれからだと予測できます。その中で外国で生活した経験や、違う角度で日本の英語教育をサポートできる J-SHINE 資格の指導者の活躍の場があるし、又自分からも是非求めているほしいと思います。小学生の柔軟なうちから、世界にはもっといろいろな文化や考えをもった人々がいることを知り、楽しい気持ちや興味を広げるお手伝いを是非一緒にしていきたいと思っています。



* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2016 年 11 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>



今月の花 ツツラゴ